

# そうさ 匠議会議だより

第70号

2023

令和5年

11月30日発行



## 未来を担う若者の声を市政に！

### 「匠瑳市中学生模擬議会」開催

令和5年11月7日に撮影



#### 主な内容

|            |        |             |           |        |
|------------|--------|-------------|-----------|--------|
| 9月定例会の概要   | 委員会の審査 | 委員会視察       | 一般質問の概要   | 2ページ   |
| 一般質問       |        |             |           | 3～7ページ |
| 討論         | 発議     |             |           | 8ページ   |
| 匠瑳市中学生模擬議会 | 議員研修   | 議会日誌        |           | 9ページ   |
| 審議結果       | 次回日程   | インターネット中継案内 | 編集後記・編集委員 | 10ページ  |



議会だより（過去分含む）  
の電子版はコチラ



# 令和4年度匝瑳市一般会計歳入歳出決算認定など

## 議案8件、議員発議案1件を認定・可決・同意

### 9月定例会

令和5年9月定例会は、9月1日に招集され、9月20日までの会期20日間をもって開かれた。

初日に市長から報告2件と議案7件について、提案理由の説明があった。

9月6日は、議案に対する大綱質疑が行われた。その後、予算決算常任委員会に議案を付託し、同日、議案の詳細な審査を行った。

14日、15日には、議員10人による市政に対する一般質問を行った。

20日の最終日には、付託議

案に対する予算決算常任委員長の審査報告があり、採決の結果、議案をすべて認定・可決した。

また、市長から追加提案された議案第8号に同意した。

その後、議員から提出された発議案1件を可決し、閉会した。

## 常任委員会の審査

※議案名等は、10ページの審議結果を参照

### 予算決算常任委員会

9月6日開催、委員17名出席  
付託された事件は、議案7件

#### ◆審査の経過及び結果

##### ・議案第1号

財政調整基金、まちづくり市長出前講座、地域おこし協力隊事業、国・県への要望、市民農園事業、食育推進事業、そつさ観光物産センター1階の里管理費、公民館講座開催事業、自立支援給付事業、職員研修、防災行政無線整備事業、出合い創出事業、土地売却収入、街路事業費、匠瑳の魅力発信事業、生活保護扶助費などに関する質疑

があり、賛成多数で原案のとおり認定するものと決した。

##### ・議案第2号

新型コロナウイルスの影響、事業の運営状況、滞納繰越額、資格証明書、高額療養費などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり認定するものと決した。

##### ・議案第3号

負担区分の対象人数、保険料の納付状況などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり認定するものと決した。

##### ・議案第4号

総務費の減額要因、介護予防サービス等諸費、利用相談などに関

する質疑があり、賛成全員で原案のとおり認定するものと決した。

##### ・議案第5号

病院事業については、運営状況訪問看護ステーションに関する質疑があった。介護老人保健施設事業については、質疑がなく、賛成全員で原案のとおり認定するものと決した。

##### ・議案第6号

道路維持事業、生活保護事務費、農地中間管理事業、空き店舗活用支援事業、学校給食センター管理費などに関する質疑があり、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

##### ・議案第7号

質疑はなく、賛成全員で原案のとおり可決するものと決した。

## 行政視察

### 文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会では、9月11日（月）、匝瑳市今泉地先で病児・病後児保育を実施している「一般社団法人橋花会 複合型児童館 フラワーチルドレン」を視察しました。



### 9月定例会

## 市政に関する一般質問

一般質問は、市政全般にわたり、市長などに対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問や提案を行うとともに、報告や説明を求めるものです。

9月定例会では10名の議員が質問に立ちました。主な質問と答弁を要約し、掲載しました。



▲匝瑳市議会会議録はこちらから閲覧できます。



林 明敏 議員  
(市民クラブ)



## 海水浴場に関する周知について

**問** 海水浴場を開設しないことを地元で説明をしているか。

**答** 「**商工観光課長**」市ホームページでの掲載のみとなっており、地元へは説明していない。

## 道路の冠水対策について

**問** 東総広域農道の冠水対策として道路のかさ上げをしようか。

**答** 「**建設課長**」冠水する範囲は延長約1・5キロメートル、深いところで1メートル程度冠水する。道路のかさ上げは莫大な工事費が必要となり、困難である。千葉県で進めている栗山川改修事業の進捗が望まれる。

## ふれあいパーク、匝りの里について

**問** 市とふれあいパーク、匝りの里との収入支出について伺う。

**答** 「**農林水産課長**」令和4年度における、ふれあいパークへの支出は指定管理料600万円、施設修繕費48万4,000円である。市の収入は、使用料139万7,196円、法人市民税8万8,500円、固定資産税5万8,100円、軽自動車税4,000円である。

「**商工観光課長**」令和4年度における匝りの里への支出は、指定管理料29万4,000円、観光案内業務交付

金508万1,000円、その他修繕料30万円及び使用料・賃借料2万円を含め837万5,000円である。

## ふれあいパークの道の駅化について

**問** ふれあいパークの総販売額が年々落ちている。多古町では、民間企業と協定を締結し道の駅南側に地域活性化拠点の整備を検討している。開設から20年以上経過し、施設改修が必要と思うが、道の駅化等どのような改修を考えているか。

**答** 「**農林水産課長**」ふれあいパークを道の駅化するには、国交省が定める各種要件を満たす必要がある。具体的には、駐車場やトイレ等を24時間使用可能とすること、道路や地域に関する案内板設置、案内業務専門員の配置が必要となる。このような費用増加や管理運営体制の見直し等、大幅な変更が見込まれる一方で、道の駅化した場合には、国交省や全国道の駅連絡会からのサポートを受けられ、知名度や集客力の向上が期待できる。

今後想定される施設修繕に向け、国・県等の補助事業の活用と併せ、運営方法等について先進事例を調査研究していきたい。

## 旧のさか幼稚園の跡地利用について

**問** 旧のさか幼稚園の利活用検討状況を伺う。

**答** 「**企画課長**」旧のさか幼稚園については、市内各団体等からの要望について確認するとともに、全庁に活用案を募集し取りまとめたところである。

今現在、協議中の案件であるため、要望内容についての答弁は控えさせていただきます。



都祭広一議員  
(創 真の会)



## 市内各所へ防犯カメラ設置を

**問** 地域防犯を確立するためには、市と警察、そして市民の情報共有が大切である。特に犯罪発生を抑止につながる防犯カメラの設置を積極的に進め、民間との協議も検討をすべきと考え、防犯指導員制度の再構築の観点から伺う。

**答** 「**市長**」防犯カメラは、市内に合計9か所設置している。防犯カメラの設置に伴う防犯指導員制度の再構築は、今後、調査研究していきたい。防犯カメラの設置について、防犯協会等と意見交換をしていただきたいかがか。

## 国立文化事業の活用を

**問** 伝統文化の創造都市としての位置づけができるよう、公共施設を活用し、日本映画の名作を所蔵管理する国立映画アーカイブの行う優秀映画鑑賞推進事業での映画上映会やシンポジウムを企画運営してはどうか。

**答** 「**教育長**」県内で実施している公共文化施設等と連携を取りながら、35ミリ映写設備の借受け等を模索し、

本事業への参画について検討していきたい。

## ロケ地マップで匝瑳市をPR

**問** 映画やドラマで活用された市内ロケ地の情報マップを早急に作成して観光、プロモーション等に積極活用すべきではないかと考えるがいかがか。

**答** 「**市長**」多くの人の目に留まるコンテンツに映り込むことは、匝瑳市の魅力を全国にPRする絶好の機会と考える。今後、前向きに検討していきたい。

## 雇用環境の強化を

**問** 本件は以前、私の一般質問で要望し、市が千葉労働局に対し、ふるさとハローワークの設置要望書を提出していただいたが、叶わなかった。改めて雇用環境の改善を目指し、職業紹介がワンストップで対応可能なふるさとハローワークの匝瑳市への設置を強く望み、市の考えを伺う。

**答** 「**市長**」ハローワークとの協議で、紙媒体での週間求人情報や、ホームページでの閲覧及び商工観光課内へ専用端末を設置し、広い地域からの求人情報が閲覧可能となった。また、Zoomを活用して、職業紹介及び相談業務を予約制で実施している。

なお、匝瑳市雇用促進協議会の企業説明会等においても、ハローワーク銚子が出張相談窓口を開設している。今後も市内求職者の利便性向上のためハローワークとの連携協議を続けていきたい。





石橋春雄議員  
(市民クラブ)



## 旧匠瑳小・旧のさか幼稚園の跡地利用

**問** 跡地の活用について進展があったか伺う。

**答** 「市長」 旧のさか幼稚園が7月末に普通財産となり、8月から跡地等利活用検討会議での検討を始めたところである。

**「教育長」** 旧匠瑳小敷地の一部に匠瑳市と個人が2分の1ずつ所有する箇所がある。個人所有地について、現在、土地売買契約に向け、相続財産清算人が裁判所に許可を求める手続を進めているところである。

**問** 県道八日市場佐倉線から旧匠瑳小北側を進入し、大浦地先に抜ける道路改良工事の用地として旧匠瑳小跡地を利活用することについて、進展があったか伺う。

**答** 「建設課長」 拡張工事については、跡地利用方法の進捗状況を踏まえ協議していききたい。

## ふれあいパークの施設改修を

**問** 開館から約21年経過した。施設改修工事を目的とした積立金とトイレ等の改修計画について伺う。

**答** 「市長」 積立金はない。また、トイレの改修予定はないが快適に使用できるように日常管理を行っている。

**問** 令和4年度決算の利益剰余金8、349万円の使用目的を伺う。

**答** 「農林水産課長」 この剰余金は会社の資金であり、新規事業への活用、不測の事態の修繕費等としての利用を見込んでいる。

**問** 市は、改修工事の負担についてふれあいパークと協議するのか。

**答** 「農林水産課長」 ふれあいパークとの基本協定に基づき、1件につき30万円以上は市の負担とし、30万円未満はふれあいパークが実施すると定めている。

**問** 植木見本園の入口を日本有数の植木の産地に相応しい、例えば切妻屋根の建物の入口に改修するなど、検討してはいかがか。

**答** 「農林水産課長」 今後、定例戦略会議等の意見をいただきながら、相応しい施設になるよう取組を進めたい。

## ハクビシンの被害対策

**問** 市内全域でハクビシン被害が発生している。特に野菜の被害がひどい状況である。捕獲機材の利用状況を伺う。

**答** 「農林水産課長」 捕獲機材については、保有する30基すべてが設置済みである。

**問** 匠瑳市鳥獣被害防止計画にある「鳥獣被害対策実施隊」の編成を考えてはどうか。

**答** 「農林水産課長」 近隣市町でも実施隊が編成されている。先進自治体の取組状況を注視していききたい。

**問** 所有者の高齢化による荒れた植木畑、竹林の整地事業や鳥獣被害防止対策に援助できないか。

**答** 「農林水産課長」 農地所有者へ適正管理を促すほか、農地の利用や地域環境の改善に向けた取組を推進していきたい。



内山隼人議員



## 子どもを産み育てたいと思ふまちづくりを

**問** 市の人口は、毎年五百数十人のペースで減っている。中でも出生数の減少が際立っており、平成27年では236人だったが、令和4年は126人。10年経たずして1000人減少している。社会動態を見ても、転入者より転出者の方が常に1000〜2000人程度多い。U・I・Jターン転入者を増やしたり、産前・産後のサポートを厚くして子どもを産みやすい、子どもを育てたいと思ふまちづくりを目指すべきではないか。

**答** 「市長」 少子高齢化というのは市の一番の喫緊の課題である。インターチェンジ周辺の産業用地の整備も一つの柱であり、企業を呼び込み、そして人を呼び込むことで、しっかりと税収も上げて、子育て世代のニーズを把握しながら、子育て支援策の充実を図り、誰もが子育てしやすいと感じられる、そして子育てのしやすさが誇れるような自治体の実現に取り組んでいきたい。

## 給食に有機米の定期利用を

**問** 農水省が掲げた「2050年までに有機農地25%」により、補助

金を使って有機農法への取り組みが全国で広がっている。同時に、有機農産物を使ったオーガニック給食を計画している自治体の数も増えている。匠瑳市も有機米を給食に定期利用し、移住PRすべきだと考える。給食のお米を月1回有機米にした場合、差額はいくらかになるか。

**答** 「学校教育課長」 56万6、500円である。

**問** その予算をどうするか。匠瑳市は独自に第3子以降給食費を免除していたが、今年1月から県でも同事業を始め、県と市で1/2ずつになった。1月から3月で支出はどのくらい減ったのか。

**答** 「学校教育課長」 119万9、000円である。

**問** 1年でどれくらい市の支出は減るのか。

**答** 「学校教育課長」 令和5年度で、465万6、000円の見込みである。

**問** お金はある。出来るか出来ないかではなく、やるかやらないかである。匠瑳市に今必要なのは、一歩踏み出すことである。給食に月1回有機米を利用すべきではないか。

**答** 「市長」 農業戦略の観点から有機米がどういう活用ができるか、これまでも考えてきたところである。先進的な、いすみ市や木更津市の市長にも市長会等で意見を伺いながら考えていきたい。





武田光由議員  
(公明党)



## GIGAスクール利活用状況

**問** GIGAスクールの利活用状況はどのようになってきているのか。また利活用に当たっての課題と対策について伺う。

**答** 「教育長」 本年6月に行った状況調査の結果、すべての小中学校の各学年で週3回以上活用、ほぼ毎日活用している小学校は2割程であった。課題としては、ICT機器の活用頻度を上げ、効果的に学習に生かしていくことである。その対策として、端末に関する知識や技能の向上を図るための研修会等を開催し、教員の力量向上に努めている。

## 奨学金返還支援制度の実施を

**問** 奨学金返還に苦しんでいる若者の負担を軽減するとともに、地方創生の観点から若者の地方定着を促す奨学金返還支援制度の実施が必要と考えるがいかがか。

**答** 「市長」 この制度は、若者が本市へ移住・定住等を考えるきっかけとなり得るものと考えている。今後他自治体におけるこれらの取組等による若者の地方定着の促進効果について

注視するとともに、効果的な移住・定住策等について調査研究していきたい。

## 音声コードの利用促進を

**問** 視覚障害者のための音声コード（紙媒体に記載された印刷情報をデジタル情報に変える2次元バーコード）の利用促進について伺う。

**答** 「市長」 利用状況としては、令和4年3月に作成した第3次匠瑤市障害者計画の冊子に音声コードを添付し、スマートフォンを使用して読み上げることができるようになっている。今後は視覚障害者が行政情報の取得及び利用を円滑に行えるよう、音声コードの普及に努めていきたい。

## 介護ボランティア制度の創設を

**問** ボランティア活動を通じて地域で交流し、支え合いの関係構築を促す介護ボランティア制度を創設してはどうか。

**答** 「市長」 高齢者のニーズや地域におけるサービスの把握、関係団体とのネットワーク構築を行うことにより、高齢者を支援する地域の体制づくりを推進しているところである。今後地域包括ケアシステムの充実を図るため、介護ボランティアポイント制度の創設を含め、ボランティアの育成及び支援について検討していきたい。



伊東一成議員  
(匠風)



## 高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定

**問** 第9期計画の介護保険料の見込みを伺う。

**答** 「市長」 高齢化率は、令和7年においては38%となる見込みである。団塊の世代が要介護の認定率が高まる後期高齢者になることや、昨今の物価高騰と他業種での賃上げを背景とした介護報酬の引き上げが見込まれることから、保険料の引き上げが必要になるものと思われる。

## 農林水産課の業務

**問** 4月に設置された農業戦略室では新たにどのような取組を行っているのか。

**答** 「市長」 本市における効率的かつ効果的な農業経営の育成を図るため、匠瑤市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想の見直しに着手したところである。

## 小規模農家への支援策

**問** 燃料や原材料費の高騰により経営困難になっている小規模農家に對してどのような支援をしていくのか。

**答** 「市長」 現在の物価高騰が続くことで、多くの市内事業者の経営に影響を及ぼすことは大変危惧している。

その一方で、支援策の実施には財源の確保が必要であることから、国の交付金や県の支援制度等の情報収集に努め、活用可能な支援策等について速やかに周知していきたい。

## フィルム・コミッション等の設置

**問** 市の認知度やイメージの向上を図るため、ロケ地の誘致活動を行うフィルム・コミッション等の設置をしてはどうか。

**答** 「市長」 本市には多くの撮影適地があると考えられるので、今後これらについての情報収集及びPRを積極的にしながら、フィルム・コミッションの設置について他市の事例を参考に調査研究していきたい。

## 生成AIの導入

**問** 仕事の効率が上がるとされている生成AIの導入を検討してはどうか。

**答** 「市長」 生成AIの業務利用については、個人情報などの情報漏えいや著作権侵害など、様々な問題が指摘されている。今後も引き続き業務を効率的に行えるよう調査研究していきたい。

## 匠瑤市民病院の健診受け入れ

**問** 病院の収入増及び市民の利便性向上のため、国保特定健診及び後期高齢者健診を受診できるようにしてはどうか。

**答** 「市民病院事務局長」 事業実施主体の健康管理課とも相談しながら、実施について検討していきたい。



近藤 魁人 議員  
(匠風)



## 市内排水機場および周辺地域浸水問題

### 問

野田地区排水機場の周辺住民から、以前より浸水被害が発生しているとの話を伺った。野田地区排水機場付近の浸水問題が発生していることを把握しているか。

### 答

「市長」野田地区排水機場付近の浸水問題については、野田地区排水機場付近の市道11285号線において、台風や豪雨時に冠水する場合があることは把握している。対策として、野田地区排水機場の排水ポンプ稼働により強制排水し、対処しているところである。

### 問

野田地区排水機場の遊水地を定期的にメンテナンスし、その現状を回復する必要があると考えるがいかがか。

### 答

「野栄総合支所長」遊水地内の土砂浚渫と併せて、適切な維持管理を行っていきたい。

### 問

過去に野田地区排水機場のポンプが故障していた期間に多くの浸水被害が報告されており、非常に気になる点である。ポンプの故障の未然防止に努めていただきたい。

### 答

「市長」トラブルが起きないように整備していく。



## 観光振興について

### 問

海岸線で各種イベント等を主催し、市内外からたくさんの人を呼び込んでいる団体と連携し、海岸線の発展を図ってみてはいかがか。

### 答

「商工観光課長」今後、団体等と連携したイベント実施の可能性を踏まえ、外部団体、所管課等から情報を得ながら、他市町における海岸線のイベントなどの事例を研究していきたい。

### 問

海岸線の観光の基本として、海水浴場は重要であると考え。銚子市、旭市、横芝光町にあつて、なぜ匝瑳市にはないんだという住民の意見がある。また、匝瑳市に来てくれた人も匝瑳市に海水浴場がないということに非常にびっくりしている。今年は無理だったが、ぜひ来年に向けて海水浴場の開設を前向きに検討していただきたい。

### 答

「市長」私も苦渋の決断ではあったが、夏期観光安全対策本部会議において検討した結果、今回は開設ができなかった。引き続き、海水浴場の開設について前向きに考えていきたい。



椎名 勝英 議員  
(日本共産党)



## 学校給食費を無償にすべき

### 問

学校給食費の無償化について、今年度は、昨年度の5か月間から4か月間に後退したが、その要因は何か。学校給食費の無償化を小・中学校と実施する自治体は全国で482、小学校のみは14、中学校のみは17あり、全国に広まっている。最近の物価高もあつて学校給食費の支払いは子育て世帯にとって大きな負担になっている。憲法第26条では、義務教育はこれを無償にするとあり、また、平成30年12月の匝瑳市議会において無償化が決議されている。学校給食費の無償化を考えてもらいたい。

### 答

「市長」現在、本市では18歳未満の子どもを3人以上有する家庭について、第三子以降を無償としている。議会における無償化の決議は、大変重く受け止めているが、財源確保の面から現状では完全無償化は困難である。

「教育長」令和5年度も子育て世帯への生活支援策として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、財源等の確保の関係から4か月分としたところである。

### 問

第三子以降の無償化は、昨年頃から千葉県が始めた政策で、各市町村に助成していると思うが、間違いないか。

### 答

「学校教育課長」令和5年1月以降、千葉県から2分の1の助成を受けて現在は第三子以降の無償化を実施している。それ以前は令和2年度から匝瑳市独自に全額免除を行っていた。

### 問

議会での決議から5年も経っており、大変重く受け止めているとは思えないがいかがか。

### 答

「市長」やはり一般財源の確保というところで難しいところがある。

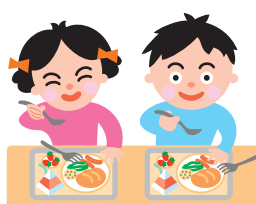
## 学校給食に安全・安心な食材を

安全で安心な食材の調達は、何を基準にしているか。

### 答

「市長」献立には地元産の食材を優先的に活用しており、安全安心な食材の提供とともに、地元産の消費にもつながっている。具体的には、市内生産者から、赤ピーマン、長ネギ、トマトなどを購入しているほか、米、魚、肉類等についても匝瑳市内の米穀店、水産加工場等から優先して購入するようになっている。

なお、地元産で補えない食材については、価格、品質等を十分に検討、精査した上で、県内産、国内産、外国産の順に選定している。今後とも食育と関連させながら地産地消の推進に努めていきたい。







田村明美議員  
(日本共産党)



## 過疎債の活用を速やかに

**問** 人口の著しい減少で地域社会の活力が低下している地域に、国が財政上の支援をする特別措置法の指定を旧野栄町区域が受けている。1年半経過した現在の進捗状況を伺う。

**答** 「市長」 過疎債の有効活用に向け、庁内で検討を進めている。令和5年度事業では、のさかアリーナの照明器具改修工事の財源として検討。匠瑤市過疎地域持続的発展計画事業の効果的な実施を令和6年度予算編成と併せて各課において検討中。また、庁内にプロジェクトチームを組織して、過疎脱却に向けた事業を検討中。広く市民から意見を聴く方法についても模索中である。

**問** 非常にテンポが遅いのではないかと。

**答** 「企画課長」 プロジェクトチームは、庁内の各課からメンバーを募り、話し合いを行っている。業務を調整しながらの会議のため頻回にはできていないが、内容の濃いものになっている。

**問** 過疎債が活用できる期限はいつまでか。

**答** 「企画課長」 過疎債について規定する特別措置法は令和13年3月ま

での時限立法であり、その間で当市が過疎地域に指定されている期間は、活用可能である。

**問** 本市が活用できる過疎債の上限額を伺う。

**答** 「財政課長」 令和5年度、ソフト分は3、500万円、ハード分は県との協議を経た本市の事業計画上の対象事業費100%分である。

**問** 市の産業はいずれも後継者不足、就業する場も少なく、若者人口が激減している。野栄地域は、稲作、畑作、畜産、養鶏等が盛んで、関係者から支援が求められている。早急に検討してほしい。

**答** 「企画課長」 事業提案するには、中身の詳細な設計、野栄区域に限った事業か、全市的な取組かの検討も必要なので、引き続き内容を詰めていくように会議を要請していきたい。

## 商店街の復活策

**問** 商店の閉店が相次いでいるが、市内商店数の動向を伺う。

**答** 「商工観光課長」 平成19年は1、352軒、令和5年は920軒で、17年間に432軒が減少した。

**問** 商店街の今後について、市長の考えを伺う。

**答** 「市長」 融資、空き店舗対策、駐車場の確保等の各種施策を講じているが、これらを再検討し、店舗数の減少に歯止めをかけるべく新たな商店街の活性化につながる施策について関係団体等と協議したい。

## 人事管理



荻谷進一議員  
(二十一世紀の会)



**問** 職場環境における職員採用について、今後の事業等を踏まえて、どのくらい人数が足らなくなるなどの調査、指示及び把握をしているか。

**答** 「市長」 全体的な事業と絡めてということは十分な検討はできていない。現在足りないと思われる19名を充足させることを優先的に取り組んでいる。

**問** 早急にやっていただかないといけない。脱炭素化・過疎債・病院事業とあつて、足りない人数がいる。把握もしていない、ただ定数が足りないから増やすという認識を改めていただきたい。

**答** 「市長」 指摘のとおりである。総務課と全体的なことも含めて協議をしたいということは指示している。

**問** 一般企業の経験者、サラリーマンでも十分対応できることがある。今までの経歴や役職を重視した採用を早急に検討するべきだ。

**答** 「市長」 10月採用が終わり、専門的知識を有するなど、これから必要な人材の採用の機会を逃すことがないように取組を進めていきたい。

**問** 市民病院  
第2次計画の素案で病院の機能

強化と言っている。今の機能は最低でも維持するのが機能強化だと思う。それ以上の機能強化ということだが、認識しているのか。

**答** 「市長」 今以上の機能強化ということについては、それぞれの得意なところでの強化をそれぞれにしているという認識でいた。

**問** 手術ができない等になったら機能強化にもならない。機能低下する可能性があり、危険をはらんでいる。近隣のいろんな病院と考えて、既存の考え方を改めなければならぬ。相談は旭中央病院だけでは駄目。その辺をよく認識して、対応いただきたい。

**答** 「市長」 旭中央病院との協議を進めている。まずはそこをしっかりと取り組んでいきたい。

## ごみ処理問題

**問** 銚子市の副議長から、匠瑤市と旭市の解体は自分たちでやりなさいという話が出て、みんな気分を害した。銚子市は循環型社会形成交付金を直接もらっているが、後は自分たちでやれという言いぐさはない。市長、聞いているか。

**答** 「市長」 聞いている。

**問** 今、銚子市の解体での不足金が前回1、400万円、今回1、200万円出ている。もともと補助金対応にならない予算組みをして今になって県からもらえないから広域事務組合に出してくれと言っている。副市長、確認しているか。

**答** 「副市長」 直接確認していないが、説明は受けている。

## 討 論

議案に対する討論は次のとおりです。

### ■議案第1号

反対の立場 2件  
賛成の立場 1件

### 反対討論

令和4年度一般会計の実質収支は約10億4、600万円の黒字で、うち財政調整基金に5億2、300万円を積み立て、決算年度末の財政調整基金残高は約30億円、一般会計の基金総額は約53億2、000万円となった。財政困難の状況はない。ところが、市議会での市民要求にもとづく施策の提案に対し、市長執行部は、財源不足を一番の理由に挙げて実施を避けてきた。学校給食費の通年無償化、売り上げ減少と物価高騰に見舞われた農業、畜産、商工業などに対する本格的な支援策は行われなかった。市民の暮らしを助ける

施策が求められるが、できない理由は財源問題という。令和4年度より、旧野菜町区域が過疎地域支援特別措置法の指定を受け、国の財政支援である過疎対策事業債が活用できる。過疎債は、事業への充当率100%、返済時には70%の国の交付税措置があり、施策の財源にできるが、4年度は匝瑳市過疎地域持続的発展計画は策定されたが、過疎債は活用されなかった。市がすでに取り組んでいる事業費についても、人口割等による相当額は、過疎債が充当でき、それによって生み出される一般財源で、市の事業拡充、施策展開が可能である。市執行部は研究、検討が不足している。

### 賛成討論

令和4年度一般会計の実質収支は10億4、599万8、336円と黒字を堅持し、その結果、財政調整基金の令和4年度末残高は29億9、840万1、000円となり、財政健全化への取組が実行されているものと認められる。新型コロナウイルス感染症に伴う経済対策及び世界情勢の不安定が続く中での燃料高騰や物価高騰対策においても、

市民生活への支援、市内事業者への支援など市独自の支援策について、機を逸することなく事業を実施している。

令和4年度は、宮内市長就任後、政策課題に取り組んだ最初の年度の決算であった。デマンド型交通への取組による公共交通の充実、耕畜連携を推進するための飼料米の生産拡大や利用促進のための助成、豊栄保育所の災害用避難路の整備など、公約に掲げた重点施策を着実に実行してきたと認める。また、シティプロモーションの推進や地域おこし協力隊の導入など、積極的な市のPR、情報発信に努めており、「匝瑳市」の名前が全国に広く知られるよう活動されているところである。

### 反対討論

令和4年度一般会計の歳入決算額は162億894万2千円、歳出決算額は151億4、839万5千円であり、実質収支額は10億4、599万8千円の黒字であ

った。令和3年度の決算額も10億3、883万5千円の黒字で2年続けて10億円以上の黒字である。

これは、歳出額の6・9%で2年続けて大幅な黒字である。このような状況になるのは、予算の組み方が悪く、余ってしまったか、それとも歳出額を絞ったかである。

宮内市長の6つのまちづくりビジョン、7つの重点施策はあまり見ることができなかった。また、市民要求の強かった子育て支援（学校給食費の無償化等）や農家支援等はすべて財源確保の面から難しいと言い、実現できないのは、

財政を精査することなく、最初からやる気がないと思われる。

また、財政調整基金は29億9、800万円ある。監査委員は匝瑳市の予算規模だと約15億円程度が適正な額と言っている。

財政調整基金や黒字等を使い、市民要求に照らした予算執行をすること、税金は所得の再配分として、予算を組み立てること。令和4年度の決算は従前どおりであり、新しい政策が見受けられない。以上の観点から令和4年度一般会計決算に反対する。

## 議員から提出され可決した発議

9月定例会で可決した発議は、次のとおりです。

### ●匝瑳市犯罪被害者等支援条例の制定について

この条例は、犯罪被害者等支援に関し、基本理念を定め、市の責務及び市民等の役割を明らかにするとともに、犯罪被害

者等の支援の基本となる事項を定めることにより、犯罪被害者等への支援を推進し、犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復及び軽減を図り、もって市民が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とするものです。



# 「匝瑳市中学生模擬議会」が開かれました

11月7日（火）、議場にて「中学生模擬議会」が開かれました。

これは、体験学習を通して「地方政治と自治」を学び、市議会の果たす役割についての認識を深めるものです。

当日は、生徒52人が参加。26人（八一中9人、八二中12人、野栄中5人）が模擬議員を務め、まちづくりへの提案や提言を行いました。

模擬議員の質問と執行部の答弁を要約して紹介します。

**1** つかもと ゆうき  
塚本 結葵さん（八一中）

問 ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を市民に周知してください。

答 2050年までの長期に渡る取組ですので、達成度等の周知方法について、どのようにしたら市民の意識をさらに高めていけるのか、研究していきます。

**2** はやし りお  
林 凜歩さん（野栄中）

問 環境美化のため、中学校において一斉にごみ回収する日を作ることを提案します。

答 多くの市民に参加していただるように、来年度からは、ゴミゼロ運動の日を定め、市内一斉に実施できるよう検討していきます。

**3** こしかわ そうた  
越川 颯太さん（八二中）

問 本市における平和都市としての取組を教えてください。

答 戦争の記憶を次世代へ引き継ぐ取組として、平和の像に千羽鶴をささげるセレモニーや広島・長崎の原爆に関する資料等を展示した戦争資料展を開催しています。

**4** かばらき ひな  
鍋木 陽菜さん（八二中）

問 災害時の安定的な電力供給に係る取組を教えてください。

答 避難所となる20施設のうち、災害時でも電力が使用できるよう、9施設に太陽光発電設備を設置、その他の施設には自家発電設備や発電機を設置しています。

**5** すずき こころ  
鈴木 心彩さん（八一中）

問 仕事と子育ての両立支援の強化を提案します。

答 保育所等での通常保育、ある保育所等では、延長、土曜、一時保育も行っています。今年度、市内事業者が病児・病後児保育事業を開始しました。今後も保育サービスの更なる充実を図っていきます。

**6** ひらやま たつや  
平山 起也さん（八二中）

問 植木産業のPR方法として、植木をモチーフにしたお菓子や料理を考案してはいかがでしょうか。

答 観光の活性化につながる非常に興味深い提案ですので、関係課や各種団体等と連携して研究していきます。

**7** しいな ゆあ  
椎名 結空さん（八一中）

問 給食の食品ロス削減のため、最も給食をキレイに食べた学校に給食の献立をリクエストできる特典をつけてはどうでしょうか。

答 大変有意義な提案です。特典としての扱いも含め、その方法や進め方について前向きに検討していきます。

**8** さかもと かのこ  
坂本 華乃子さん（八二中）

問 特産品等を使った料理を提供する施設を作ってはいかがでしょうか。

答 ふれあいパーク八日市場では、地元産の米や豚肉、野菜等を使用した食事の提供や地元農産物や加工品の販売・紹介を行っています。今後も事業者等と連携し、地元産品の魅力をPRしていきます。

**9** うい そらお  
宇井 青空夢さん（野栄中）

問 銚子連絡道路インター周辺に屋外スポーツ施設の建設を提案します。

答 他県で商業・物流・スポーツ施設を一体的に整備した事例もあります。今後も様々な意見を伺い、どんな産業の集積が本市の発展に寄与するのかを検討していきます。

## 令和5年(2023) 8月▶10月 議会日誌

- 8月** 7日 匝瑳市横芝光町消防組合議会臨時会  
8日 後期高齢者医療広域連合議会臨時議会  
10日 八咫水道企業団8月定例会  
17日 議会報編集委員会  
24日 令和5年第2回九十九里地域水道企業団理事会  
29日 議会運営委員会  
31日 匝瑳市ほか二町環境衛生組合9月定例会
- 9月** 1日 9月定例会開会、本会議【議案上程】、全員協議会  
6日 本会議【大綱質疑】、予算決算常任委員会  
14日 本会議【一般質問】  
15日 本会議【一般質問】  
20日 本会議【採決】、9月定例会閉会  
25日 東総地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会
- 10月** 3日 匝瑳市横芝光町消防組合議会9月定例会  
4日 全員協議会  
12日 議会報編集委員会  
16日 千葉県市議会議長会第198回定例総会  
19日 東総地区広域市町村圏事務組合議会運営委員会  
23日 東総地区広域市町村圏事務組合議会9月定例会  
後期高齢者医療広域連合議会運営委員会・全員協議会  
24日 東総衛生組合議会10月定例会  
25日 全国市議会議長会研究フォーラムin北九州(～26日)  
30日 千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会  
(以上主なもの)

## 議員研修



▲講演する  
鍵屋一教授

10月30日（月）、成田市において、千葉県北総地区11市の市議会による「千葉県北総地区市議会正副議長会議員研修会」が行われました。跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部教授の鍵屋一氏を講師に、「新たな自



▲講演を受講する議員

治体防災会議と議会、議員の役割」を演題として講演がありました。本市からは、議員13人がこの研修に参加しました。

令和5年(2023年)9月定例会の審議結果

| 議案番号       | 議 案 名 等                         | 議 員 名 | 審議結果 | 近藤 | 伊東 | 石橋 | 内山 | 椎名 | 都祭 | 増田 | 平山 | 林  | 山崎 | 行木 | 武田 | 小川 | 石田 | 佐藤 | 荻谷 | 田村 | 石田 |
|------------|---------------------------------|-------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
|            |                                 |       |      | 魁人 | 一成 | 春雄 | 隼人 | 勝英 | 広一 | 正義 | 政利 | 明敏 | 等  | 光一 | 光由 | 博之 | 加代 | 悟  | 進一 | 明美 | 勝  |
| 1          | 令和４年度匠瑛市一般会計歳入歳出決算認定について        |       | 認定   | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | 議  | ○  | 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○  |
| 2          | 令和４年度匠瑛市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について  |       | 認定   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 議  | ○  | 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 3          | 令和４年度匠瑛市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について |       | 認定   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 議  | ○  | 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 4          | 令和４年度匠瑛市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について    |       | 認定   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 議  | ○  | 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 5          | 令和４年度匠瑛市病院事業決算認定について            |       | 認定   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 議  | ○  | 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 6          | 令和５年度匠瑛市一般会計補正予算（第４号）について       |       | 原案可決 | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 議  | ○  | 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 7          | 令和５年度匠瑛市介護保険特別会計補正予算（第１号）について   |       | 原案可決 | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 議  | ○  | 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 8          | 匠瑛市固定資産評価員の選任について               |       | 同意   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 議  | ○  | 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 発議案<br>第１号 | 匠瑛市犯罪被害者等支援条例の制定について            |       | 原案可決 | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 議  | ○  | 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |

※「議」議長は、採決に加わりません。 ○賛成 ×反対 欠は採決時、欠席 退は退席 除は除斥

編集後記

師走といわれる12月になりますと何かと忙しい時期になるのではないかと思います。また、日増しに寒さが厳しくなってきましたので、体調管理には十分に留意してください。さて、今号は11月上旬に開催されました「匠瑛市中学生模擬議会」を掲載しています。匠瑛市の将来を担う中学生議員から、教育、福祉、産業振興、

環境・エネルギーなど様々な分野についての質問や提案がありました。慣れない議場で立派に発言する姿を拝見し、とても頼もしく感じました。今後の活躍を期待しています。議会だよりを通じて、議会活動をわかりやすく伝えられるよう、引き続き取り組んでまいります。

委員長 平山 政利  
 副委員長 増田 正義  
 委員 都祭 広一  
 委員 内山 隼人  
 委員 小川 博之  
 委員 武田 光由  
 委員 山崎 等

匠瑛議会だより  
 編集委員会

12月定例会の予定

(12月1日～12月19日 会期19日間)

| 日     | 月                | 火                | 水                  | 木            | 金                | 土  |
|-------|------------------|------------------|--------------------|--------------|------------------|----|
| 11/26 | 27               | 28<br>議会運営委員会    | 29                 | 30           | 12/1<br>開 会      | 2  |
| 3     | 4<br>質疑調整のため休 会  | 5<br>質疑調整のため休 会  | 6<br>大綱質疑予算決算常任委員会 | 7<br>総務常任委員会 | 8<br>文教福祉常任委員会   | 9  |
| 10    | 11<br>産業建設常任委員会  | 12<br>質問調整のため休 会 | 13<br>一 般 質 問      | 14           | 15<br>総合調整のため休 会 | 16 |
| 17    | 18<br>総合調整のため休 会 | 19<br>閉 会        | 20                 | 21           | 22               | 23 |

※日程は変更となる場合があります。  
 日程や傍聴などのお問い合わせは、議会事務局またはホームページまで。 ☎0479 (73) 0099

匠瑛市議会  
 インターネット中継を  
 ぜひ、ご活用ください！



匠瑛市ホームページ内、市議会ホームページから、本会議のライブ中継及び録画中継をご覧いただけます。  
 市議会を傍聴に来られない方などは、ぜひご覧ください。